

Ⅳ-427

外国人から見た東北地方の魅力について

岩手大学 正会員 安藤 昭
 岩手大学 正会員 赤谷 隆一
 N T T 正会員 〇上田 亨

1. はじめに

ここ数年来、わが国における外国人居住者数は飛躍的に増加し、現在 100 万を越える外国人が地域社会の一員として生活している。さらに、観光やビジネス等でわが国を訪れる外国人 Tourist においては、1992 年で 350 万人を越えるに至り、現在、わが国は「国際化の時代」を迎えたといわれている。また、新幹線等による国内の高速交通網の整備や地方空港への国際定期便の就航等により、わが国における国際化の波は首都圏だけに留まらず地方にも押し寄せ、地方の都市や観光地においても訪れる外国人が増加している。

本研究は、国際化の時代に対応した地域環境育成、つまり国際的視点を取り入れた地域環境づくりのための基礎的研究として、近年、外国からの訪問者が漸次増加している東北地方を対象に、外国人から見た東北地方の魅力や、国内の他地方の魅力と比較しながら分析し、国際化の時代に対応した東北地方の魅力創出にあたっての整備課題を追求するものである。

2. 調査対象地の概要

東北地方は、わが国の北偏に位置し、東西約 200km、南北約 520km、の南北に長く連なる地域である。そのため気候は、地域内でも北部と南部で差異がみられる。また、総面積の約 9 割が積雪地帯ということも手伝って四季が明瞭であり、それに伴う景観の変化も大きい地域となっている。

地域の中央を縦貫する奥羽山脈には那須火山帯が走り、これに平行して西に縦貫する出羽山地には鳥海火山帯が走っているため、地域内では遠景に山並みや美しい孤立峰を眺望することができ、火山にもとづく温泉、湖沼、堰止湖も多い。また、太平洋と日本海に面した総延長約 3300km の海岸線を有し、海岸風景にも恵まれ、日本を代表するような海岸風景を展開している。

東北地方は、北関東の山岳や白河の関等によって関東地方と分断されていたこともあって、古代より関東地方との地域間交流に乏しく僻地的傾向にあったが、結果として現在は地方伝統に培われた個性的な都市が点在する地域となった。

近年では、東北自動車道の開通や東北新幹線の開業、さらには東北地方内における空港の整備拡充等、交流ネットワークの整備により、首都圏、近畿圏、さらには海外との交流も活発になってきており、地域開発も次第に進行している。

なお、今回の調査は東北地方との比較対象地として、首都圏として国の主要機関が数多く存在し、外国人居住者数をもっとも多い関東地方と、奈良、京都など古い都が存在し、それに伴う史跡文化財も多く、さらにわが国初の本格的な 24 時間国際空港としての関西国際空港も昨年開港し、外国人 tourist の更なる増加が予想される近畿地方の 2 地方を選定した。

3. 調査の方法

国際的視点から東北地方の魅力を探るにあたり、被調査者は「わが国と異なる風土・文化のもとで育ち、調査対象地として選定した東北、関東、近畿、各地方の魅力を新鮮な視点で捉えることができる者であるこ

と。」「一定規模の標本が確実に得られる者であること（在住外国人の自宅住所は市役所で公表しない）。」「東北地方に対して、より正確な知識を持つ者であること。」の 3 つの理由から、東北地方に長期滞在する外国人で、東北地方内の各県または各市町村に所属する外国語指導助手（ALT）および国際交流員（CIR）とした。被調査者の個人属性を表-1 に示す。

調査は郵便調査法により、東北、関東、近畿の各地方について、表-2 に示す質問項目を被調査者に訪ねた。つまり、まず東北、関東、近畿の各地方において訪問したことのある場所をそれぞれ記入してもらい、ついで、記入した訪問地ごとに訪問の目的、訪問先で印象に残ったもの、訪問先で不満に思ったものを記入してもらった。

なお、調査期間は平成 7 年 2 月 21 日から平成 7 年 3 月 10 日である。

表-1 被調査者の個人属性

母国名	青森県		秋田県		岩手県		宮城県		山形県		福島県		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
アイスランド	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
アメリカ	6	5	11	3	8	11	7	14	21	8	15	23	7	12
イギリス	2	1	3	1	2	3	2	2	5	2	4	5	1	2
オーストラリア	1	2	3	0	2	2	2	0	2	0	0	0	0	3
カナダ	1	2	3	2	3	4	1	2	3	2	5	7	0	1
ニュージーランド	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
フランス	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
合計	10	12	22	6	15	21	13	19	32	12	25	37	10	19

表-2 質問項目

- Q 1 What is the place that you have ever visited in the ○○○ DISTRICT?
- Q 2 What was the purpose of your trip?
- Q 3 What was the object of admiration in the place?
- Q 4 What kind of dissatisfaction did you have in the place?

4. 調査結果および考察

(1) 訪問タイプ別入り込み数

調査結果より得られた、各地方ごとの訪問タイプ別入り込み数構成比を図-1 に示す。

東北地方について、入り込み数の構成を見てみると、第 1 位は都市であり、さらに山岳、温泉、海岸線、祭り、と続いている。また、これら 5 要素はそれぞれ 1 割以上の比率を保っている。

しかしながら、関東地方や近畿地方におけるそれぞれの入り込み数の構成は、そのほとんどが都市で占められている。関東、近畿、両地方とも都市以外の要素は地域全体の 1 割未満に止まっており、訪問先が極度に都市に集中しているのがわかる。

このように、東北地方における被調査者の訪問先は、都市が約 3 割を占めるものの、関東地方や近畿地方に比べ、都市周辺の山や温泉、さらには海岸線にも分散していることがわかる。

